

潤滑油中の摩耗粉で 機器の状態を診断！



背景・目的

- 発電所等の大型機器の異常個所を迅速・効率的に推定する。
- 油の劣化量は極少
摩耗粉の診断もできるようにしたい！

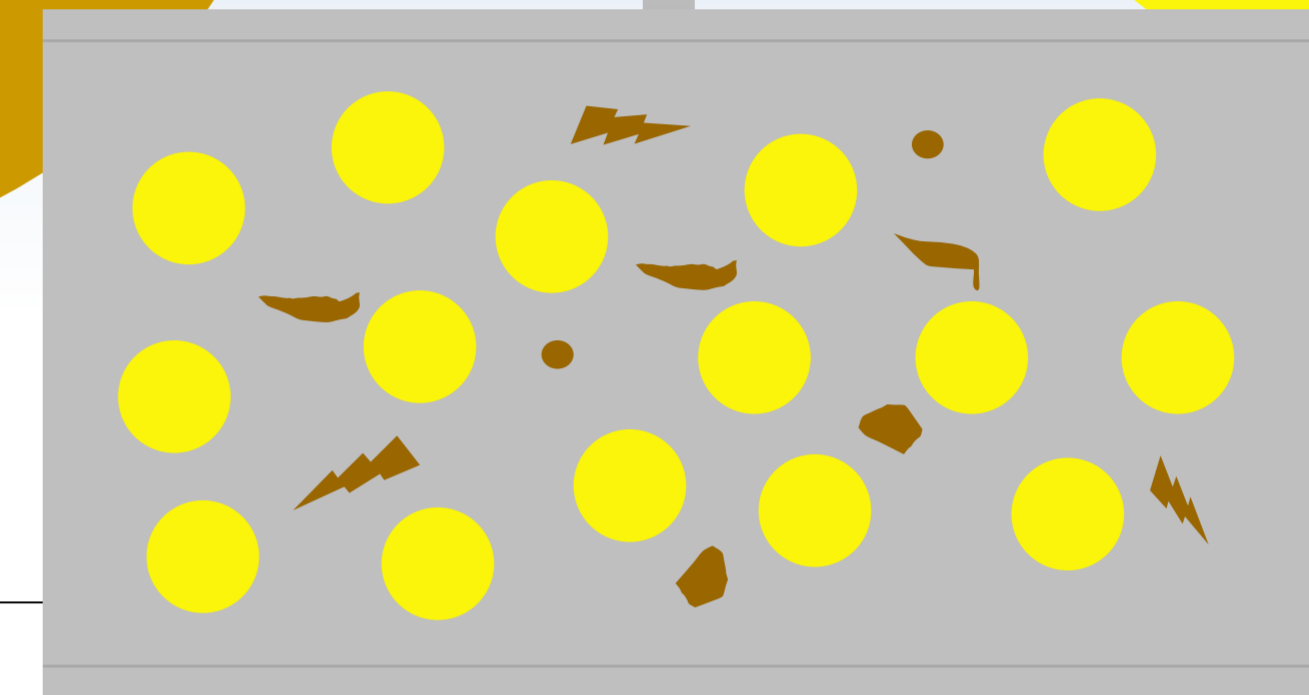


『機械診断』

摩耗粉の量・形状
+
元素分析

『潤滑油診断』

油の劣化
粘度、酸価



潤滑油（油+摩耗粉）

- 潤滑油中の摩耗粉の量・形状を調べる。
ベアリング、シャフト、ギア等の接触面では、摩耗粉が発生します。これを監視することで、機器の状態を診断します。

定量フェログラフィ

摩耗粉の濃度 や 大きな摩耗粉の割合を測定

質量汚損度計(パーティクルアナライザー)

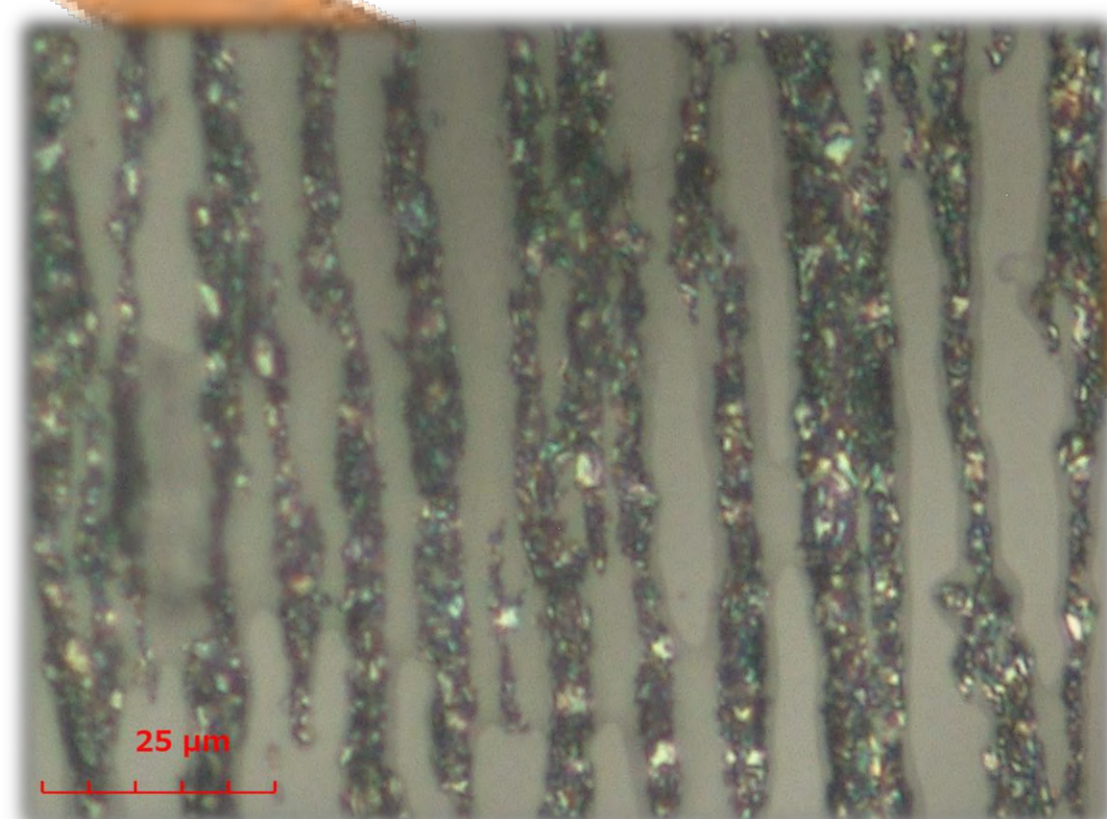
摩耗粉粒子の形状やサイズ、鉄粉濃度を自動測定

定性フェログラフィ

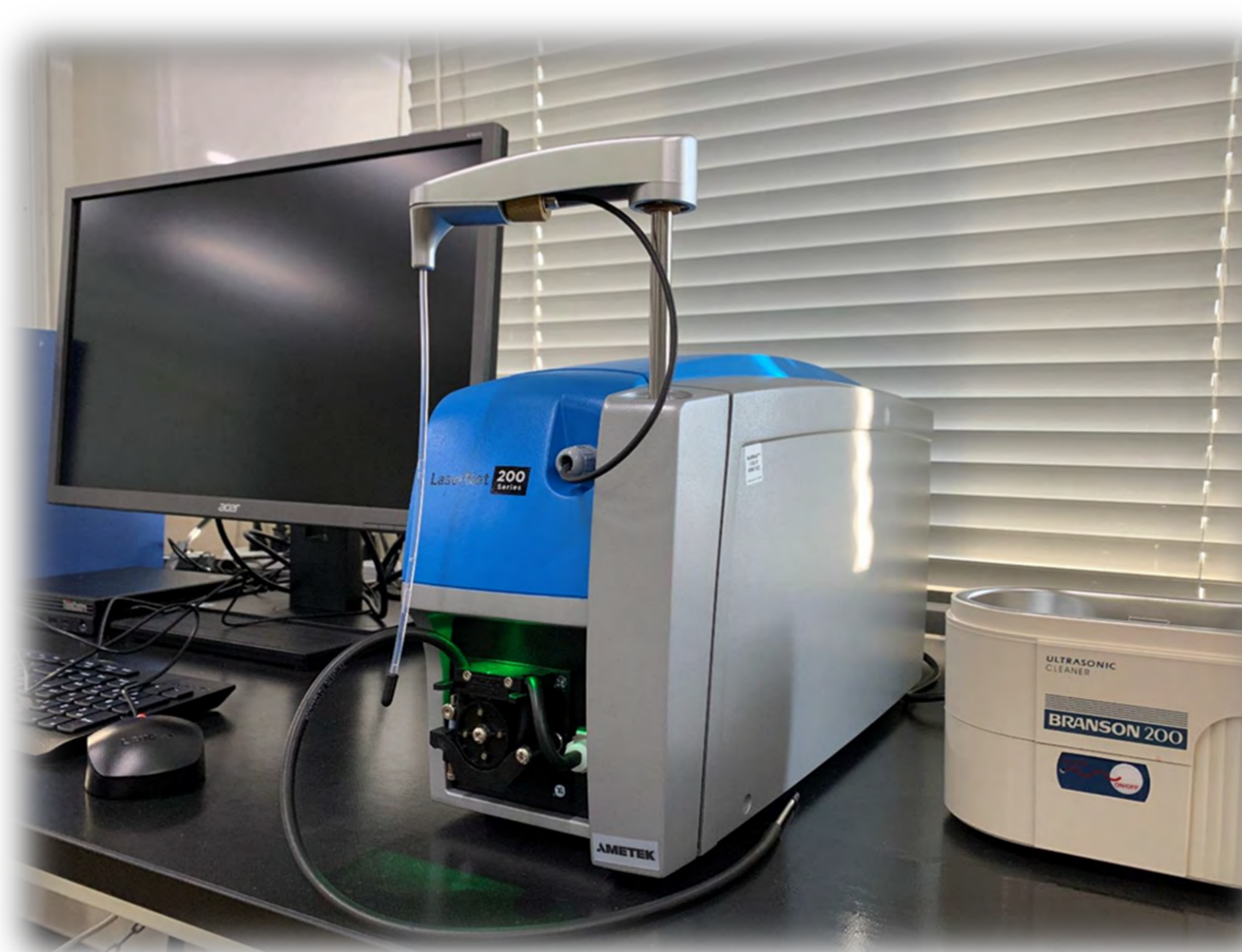
顕微鏡で観察可能な試料を作成
摩耗粉形状と成分分析

- ➔ 正常/異常のスクリーニング
- ➔ インシデントの予測

特長



異常個所を推定



用途

- 機器や潤滑油の余寿命評価・故障の未然防止
- グループ外のお客さま設備への展開

開発者の
ひとこと

自分たちで手の内化することで得られる知見とこれまでのノウハウを組み合わせることで新しい技術を生み出すことにチャレンジしています。